

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー
RI.D2590ガバナー／樋口 明
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援

ポリオ撲滅運動
パキスタンにて

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
<http://yokohamaasahirc.cho88.com>
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2024年5月15日 第2543回例会 VOL.55 No.32

- 司会 SAA 北澤 正浩
- 開会点鐘 会長 田川 富男
- 斉唱 我等の生業
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	13名
本日の出席率	68.42%	修正出席率	68.42%

- 本日の欠席者
日向、市川、二宮、佐藤(勉)、関口、宋
- オンライン出席者 佐藤(真)、福村
- 他クラブ出席者
新川(横浜南 RAC、地区)
- ゲスト 宋 潤坤さん(米山奨学生)

■会長報告 田川 富男
5月19日横浜西口のホテルプラムにて「兵藤先生を偲ぶ会」が開催されます。多くの方々の参加を希望お願い申し上げます。ただ、自分が薄情な人間なのかもしれませんが余り先生が居なくなったことが信じられません。今でも、明るく存在感が有り例会に参加されている気がします。インターネットから兵藤先生のヒストリーを拝見すると昭和14年静岡県袋井で生誕され、麻布獣医大学を卒業し、翌年には24才で兵藤動物病院を開院され波瀾万丈の人生を送りました。

直接ロータリアン兵藤会員を知らない方へ先生は旭 RC の会員としてリーダーシップを取っ

てもらいました。でも、強引な事もなくクラブのムードメーカーとして尽力をつくして頂きました。また、特別会員である古川なおき会員とも古き知人であり、我が子の思いで接していました。現在、兵藤先生の意向を次いで奥様が「兵藤哲夫アニマル基金」を推進されています。

- 幹事報告 岡田 隆
- 例会臨時変更のお知らせ

▶横浜緑 RC

5月29日(水) 休会

6月19日(水)→20日(木) 期末懇親会 18時点鐘

■3ヶ年プロジェクトについて 五十嵐 正

先週の例会にて北澤エレクトが次年度の活動方針についてご説明されました。その際、クラブ3ヶ年計画に付き私が補足説明をさせていただき、その後の次年度理事会にて承認をされました。

その内容に付きましては、先週プリントをお配りし、本日の週報にも掲載されております。そこでプロジェクトの名称はまだ決まっておりませんが、仮に「食をテーマにした地域防災組織作り」と説明資料に記載した名称とさせていただきます。

説明書にありますように、先ずプロジェクトチームを作る必要があります。先週の例会で北澤エレクトから私が当面のチームリーダーとご指名がありましたので、その最初の仕事としてプロジェクトチームの編成として、チームに参加し

てもよいとお考えの方の募集を行いたいと思います。

このプロジェクトは、説明書をよく読んで頂けると分かるように、クラブとしてはとても高い目標設定をさせて頂いております。先日のイタリアの防災の講演で、イタリアでは災害関連死がゼロが当たり前のように設定されていることに驚きを感じました。東日本では6千とも8千とも云われる関連死がゼロとは。先日能登に支援に行かれた日向会員が、温かい食事が出たのは行って4日目と伺いました。

今回のプロジェクト目標は旭区で、災害時に「1万人に温かい食事を2週間提供する」と云うものです。特に子どもや高齢者に対して。旭区の人口は25万人、横浜市で高齢化率がとても高い地域です。25分の1これすら達成できないようであれば、関連死ゼロなど夢の又夢の状況です。イタリアでは先ずシャワー付きのトイレ、専門の料理人が作る温かい食事、そして家族単位の空調機能付きテントが全て災害発生後2日以内に届く。この現実をお考えください。

まさに災害時は我慢するのが当たり前といった風潮や行政という大きな壁に立ち向かう、ドン・キホーテのような活動になると思います。ですから、チームのメンバーにはこちらから指名するのではなく、ボランティア（自発的）にお考え参加していただきたいと思います。ただ一つだけ条件と申しますか、会議の多くはLINEで行うことが想定されますので、LINEのできる方をお願いしたいと思います。

募集の締め切りは5月末日、参加頂ける方は私（五十嵐）までLINEまたは口頭でお声掛けください。よろしくお願いします。

■ニコニコBOX

田川 富男／①今期の一般卓話も最後となりました。中谷さん宜しくお願い致します。②次回22日も最後のクラブ協議会となりますので、各委員長、副委員長には宜しくお願い申し上げます。

関澤 信吾／中谷さん、本日の卓話よろしくお願ひします。楽しみにしています。

北澤 正浩／中谷さん、卓話楽しみにしており

ます。

五十嵐 正／中谷さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

新川 尚／中谷さん、卓話楽しみです。

安藤 公一／中谷さん、本日の卓話宜しくお願ひします。

中谷 逸希／なかなか参加できずすみません。今日もよろしくお願ひいたします。

岡田 隆／中谷さん、本日の卓話宜しくお願ひします。

目黒 恵一／中谷会員卓話宜しくお願ひ致します。

■卓話「世界が認める業務改善の最適解 TOC 研修」
中谷 逸希



▷ TOC(制約理論)とTOC研修とは

TOC (Theory of Constraints) 研修は、一流経営者のバイブルとして挙げられる「ザ・ゴール — 企業の究極の目的とは何か (ダイヤモンド社出版)」の原作者として知られる数理学者故エリヤフ・ゴールドラット博士が提唱した組織の生産性と効率性を向上させるための革新的な方法論(制約理論)です。

誰もが知る一流メーカーから中小企業、ベンチャーまで業種・規模に関わらず多くの企業が導入し、様々な設備投資やシステム導入、社員教育などでは得られなかった目覚ましい成果を実現しています。

この研修では、TOCの基本概念や原則について理解を深め、組織内の制約要因を特定し、それらを解決するための具体的な戦略を学びます。

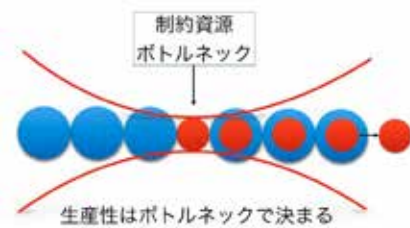
▷制約(ボトルネック)とは

制約理論において、ボトルネックとは生産プ

プロセスやシステムにおいて、全体の生産性や効率性を制限している要因のことを指します。つまり、ボトルネックは生産ラインやプロジェクトにおいて、最も効率的なリソースが不足している箇所やプロセスです。

ボトルネックを特定し、その影響を最小限に抑えることは、生産性や効率性を向上させる上で重要です。制約理論では、ボトルネックを最適化し、その他の部分を調整して全体の生産性を最大化する方法が探求されます。

ボトルネック = 希少リソース



希少リソース（ボトルネック）はどこか？



A案件 B案件 C案件

どの案件も早急に、とにかく急いで全部終わらせなければならない



シングルタスクとマルチタスク



マルチタスク



希少リソースはマルチタスクになりやすい

シングルタスク

シングルタスクになるように考えてやり方を変えていく

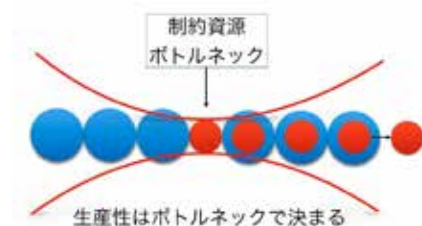


マルチタスクをシングルタスク化していく



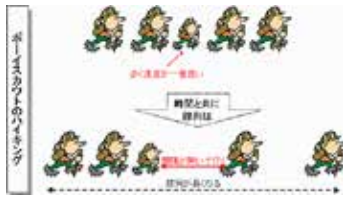
仕事の順位をつけていく

会社の中で制約がどこにあるか考える



一般的には有資格者しかできない仕事がある部署がボトルネック（希少リソース）となっていることが多い

どうしたら隊列を短く早くゴールできるか？



一人ひとり（工程）の歩み（進行スピード）には差があり、誰かが遅れても・誰かが早すぎても、全体は上手くスピーディに進めません

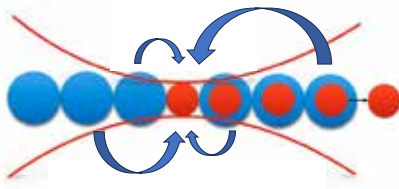


DBR(ドラムバッファースペース)



(ドラム) 最も遅い少年のスピードに合わせてドラムを鳴らし同調させる
(ロープ) 先頭を最も遅い隊員とロープを繋げることで隊列の広がりを防止する
(バッファ) ロープの長さは各隊員の速度の変動を考え時間的なゆとりを持つ

ボトルネックがどこにあるのか常に考える。全体の生産性が上がるよう、どこをフォローするか考えることで業務改善され生産性が向上する



▷まとめ

勘違いしやすいこと

- ①仕事は全ての人が多タスク（自分だけが忙しいということはない勘違いしないように）
- ②今これをやっているからこの仕事はできな

い。ということではなく、仕事の優先順位をつけてシングルタスク化をするのが大切だということ

- ボトルネックはシングルタスクにしそれ以外はマルチタスクにする
- ボトルネックを見つけて業務改善しフローが流れるようになると、また別の場所でボトルネックが出てくる
- 常にボトルネックを見つけて改善計画を立案し、業務改善していかなければならない
- 誰かがドラムを鳴らしどこかで先頭のロープに知らせることが大切
- 一人一人の協力が欠かせない全員経営の意識が必要

▷ TOC 研修では、組織内の制約がどのように生じるか、そしてその影響を最小限に抑える方法を学びます。参加者は、現実のビジネスシナリオに基づいたケーススタディや実践的な演習を通じて、TOC の概念を実践的に適用する方法を習得します。

▷ 制約要因の特定と分析能力の向上

ボトルネックの管理と効果的なリソース配分
生産性の向上と納期の短縮

▷ TOC 研修で得られる成果

- 制約要因の特定と分析能力の向上
- ボトルネックの管理と効果的なリソース配分
- 生産性の向上と納期の短縮
- リーン思考と効率性の強化
- 組織全体のパフォーマンス向上のための具体的な戦略の構築

▷ TOC 研修はこんな方におすすめ

TOC 研修は、経営者やプロジェクトマネージャー、生産担当者、および組織内の改善活動に関わるすべての人にとって価値のある内容です。組織の持続可能な成長と競争力を高めるために、TOC の原則と手法を実践的に学び、活用することが重要です。

■次週予告

5/29 休会

6/5 次年度クラブ協議会